

成育基本法成立から1年 安心の医療・介護・福祉を次の世代に届けたい

参議院議員・自民党参議院比例区(全国区)支部長／小児科専門医・認定内科医 日本医師連盟参与 自見はなこ



小児科の先生方の25年に亘る

悲願と言われてきた成育基本法が2018年12月8日に成立しました。25年前にできていれば、少子化や小児虐待の問題など起きていなかったのではないかと、思っています。参議院議員になられて3年、ご実績や、今取り組んでおられること、今後の展望など、お話しただければと思います。

選し、そこからは一人三脚で2018年5月22日に超党派の議員連盟を設立し、加入議員数が約120名という非常に大きな集まりになりました。

妊娠期からの切れ目のない支援で、子どもたちと、妊娠している方々に対する医療と保健、心身の健康に対する啓発・教育、予防接種等の記録の体制整備、そして我が国で初めて、法律の中でCDR(チャイルド・デスレビュー)子どもの死因究明と、防げる死の予防)を記した議員立法です。昭和22年以降、児童福祉法や母子保健法、健やか親子21など、様々な立法や計画が実施されてはいたのですが、それらに横串を刺すという法律です。

3年前に日本医師連盟の推薦をいただき、医療界の代表選手の一人という立場で全国比例区から国会に送って頂きました。与党の中ではたった1人の小児科の医師です。713人いる国会議員の中にも、小児科医は与野党で2人しかいません。今まさに、妊娠期からの切れ目のない支援や、虐待、少子化の問題など、政府の中で最も大事な政策課題の1つで、任されている役割は大きいと自覚しております。この3年間、緊張感を持って政策立案等に励む日々を送らせていただいております。その中で25年前から全国の小児科医会、産婦人科医会、三師会の方々を含めた関係者が、我が国で妊娠期からの切れ目のない支援を実現して欲しい、成育基本法という法律を作りたいという活動が、日本医師会の中で活動して来られました。日本医師会の中でも検討委員会が立ち上がり、数年に及ぶ検討を経て、答申を出されています。それを羽生田たかし先生が6年前に参議院選挙で当選されて、初めての3年間で自民党の中の議員連盟を設立し、議論を深めてこられました。そして私が当

選し、そこからは一人三脚で2018年5月22日に超党派の議員連盟を設立し、加入議員数が約120名という非常に大きな集まりになりました。

産後ケア法案も1年遅れて法制化

実は超党派で議論する中で、野党の先生方や団体からも強く産後ケア法案事業の法制化を実現させて欲しいというご要望をいただきました。成育基本法の理念をより具体的に機能させる場所が必要だということ。当初は平成28年の児童福祉法の改正で制定された子育て世代包括支援センターで行っていたのですが、いいかと思っていたのですが、具体的にお母さんが子どもと一緒に帰れる場が必要だということ。議員立法として整理し、母子保健法の改正案として国会に提出し、2019年11月29日に成立し、2021年4月から施行されます。産後ケア事業は今までは法的な根拠がなく、助産所として開設するか、簡易宿泊所として開設するか方法がなかったのですが、今回類型を作りました。努力義務として、市町村事業で20床までの産後ケア施設に対して、施設整備費にもしつかり手当てをしていきたいと考えています。産婦人科の先生にもご協力をいただいています。小児科医と助産師が協力して産後1年間、お母さんが非常に不安定な時に宿泊型でお母さんと赤ちゃん、あるいはお父さんも一緒に来ていただいで、愛着形成期を育むサポートを行政や医療関係者が行うという施設です。虐待を防ぐために母子保健を拡充すべきであると思っております。

具体的には医療をベースにして教育と福祉にブリッジを掛ける形で有機的につなげていきます。医療・療育・教育・福祉を同じ土台に乗せ、子どもを真ん中に置いて、子育てを孤立化させないように各施策を展開していくものです。法律の構成としては、厚生労働省の中に基本計画を作るための協議会が設置され、本年2月より議論が始まります。協議会で議論して項目立てを作りますが、本年夏を目途に議論を詰め、閣議決定後に自治体の皆様に努力義務という形をお願いいたします。成育基本法に関しては込みがありまして、新たに計画を作る自治体の行政の負担を考えて、今ある医療計画や障害者福祉計画などに入れ込んでいく形にしていますが、その項目については年に1回公表義務を政府に課していますので、どれだけその施策が各自自治体で進んでいるか、見える化を図っていくことが大き

選し、そこからは一人三脚で2018年5月22日に超党派の議員連盟を設立し、加入議員数が約120名という非常に大きな集まりになりました。

子どもの死因究明を虐待や事故の予防・防止に活かす

日本では産後1年以内のお母さんの自殺率が高いのです。成育基本法では妊娠期から切れ目のない支援を行うというところで、妊産婦のメンタルヘルスも重要項目にしています。同じく長年の悲願であった脳卒中・循環器病対策基本法も、循環器で活動されていた先生方が最終的に融合する形で成立し、公布と施行も成育基本法と同じ日でした。こちらも、成人期の疾患予防、リハビリ等の対策にも力を入れて行きますが、妊娠期からの切れ目のない生活習慣病予防、成人病予防を入れて欲しいとお願ひしています。お母さんが痩せていて小さく生まれた赤ちゃんは腎疾患や糖尿病になりやすいというように、も分かっています。

今、医療は医療、療育は療育、教育は教育、福祉は福祉と全部バラバラです。これらを一つのテーブルに載せようというのが成育基本法です。子どもたち1人残らずに、医療と療育と教育と福祉の恩恵を受けていただくことが非常にこれから重要になります。子どもの死因究明に関しても、本当に虐待や事故で亡くなったのか、あるいはそ

災害時に必須の乳児用液体ミルクの解禁

の過程でこういう風にしていければ防げたのではないかと、いうことを検証する仕組みが日本にはありませんが、先進諸国ではおおよその国で制度化されています。ですからCDRは今後数年以内に亡くなった子どもの死因を究明する体制を作るための研究班の準備も進んでいます。専門家集団が検証する仕組みを構築していくためには、刑事訴訟法との関係などの整理も必要です。虐待や事故の予防は、社会全体で取り組むべき大切なことです。CDRで改善できることはたくさんあります。

日本では液体ミルクが2019年3月から解禁になりました。自民党の「乳児用液体ミルクの普及を考慮する会」(代表・野田聖子)の事務局長をさせていただいています。同時に「赤ちゃん防災プロジェクト」を日本栄養士会の災害支援チームに立ち上げていただいて、まず母乳が大事であることを前提として、液体ミルクと粉ミルクがあるということを示し、避難所においてお母さんと赤ちゃんが安心して過ごせるようにして欲しいというのが赤ちゃん防災プロジェクトです。その中で液体ミルクの適切な普及啓発についても活動しています。断水と停電が起きた時に、液体ミルクは本当に喜ばれました。千葉では断水が2週間以上になりましたので、保健師さんが訪問して配ってくれました。国の防災計画の中で、基礎備蓄は市町村の役割です。厚労省政務官になってから、市の備蓄計画に液体ミルクを入れていただくようにという事務連絡を、内閣府防災と内閣府男女共同参画と厚労省の母子保健課の3者連名で出させていただきました。

脳卒中・循環器病対策基本法のフォローアップ理念を作るための事務局も併任する予定

同じく長年の悲願であった脳卒中・循環器病対策基本法も、循環器で活動されていた先生方が最終的に融合する形で成立し、公布と施行も成育基本法と同じ日でした。こちらも、成人期の疾患予防、リハビリ等の対策にも力を入れて行きますが、妊娠期からの切れ目のない生活習慣病予防、成人病予防を入れて欲しいとお願ひしています。お母さんが痩せていて小さく生まれた赤ちゃんは腎疾患や糖尿病になりやすいというように、も分かっています。

同じく長年の悲願であった脳卒中・循環器病対策基本法も、循環器で活動されていた先生方が最終的に融合する形で成立し、公布と施行も成育基本法と同じ日でした。こちらも、成人期の疾患予防、リハビリ等の対策にも力を入れて行きますが、妊娠期からの切れ目のない生活習慣病予防、成人病予防を入れて欲しいとお願ひしています。お母さんが痩せていて小さく生まれた赤ちゃんは腎疾患や糖尿病になりやすいというように、も分かっています。

◆自見はなこ(英子)プロフィール

- 1976年2月15日 長崎県佐世保市生まれ 福岡県北九州市育ち
- 1991年 明治学園中学校 卒業(福岡県北九州市)
- 1994年 Brookline High School, MA, USA 卒業
- 1998年 筑波大学第三学群国際関係学類 卒業
- 2004年 東海大学医学部医学科 卒業
- 東海大学医学部付属病院 初期研修
- 2006年 池上総合病院 内科後期研修
- 2007年 東京大学医学部小児科入局・同附属病院小児科勤務
- 2008年 東京都青梅市立総合病院小児科
- 2009年 虎の門病院小児科(2010年~非常勤)
- 2010年 国会議員秘書(~2013年7月)
- 2015年 自民党参議院比例区(全国区)支部長
- 2016年 参議院議員選挙比例区(全国区) 当選(210,562票)
- 2017年 党厚生労働部会副部長
- 2018年 参議院厚生労働委員会理事
- ~2019年9月 参議院厚生労働委員会理事
- 現在 厚生労働大臣政務官
- 東海大学医学部医学科客員准教授
- 認定内科医、小児科専門医

